

『類経』（張介賓）「経絡類・二、十二経脈」肺経部分に記された経穴の所属経脈，要穴，位置

経穴名	所属	要穴名	位置
ちゆうかん 中腕	任脈	胃募穴 八会穴の腑会	上腹部，前正中線上，臍中央の上方4寸
すいぶん 水分	任脈		上腹部，前正中線上，臍中央の上方1寸
きゆうび 鳩尾	任脈	任脈絡穴	上腹部，前正中線上，胸骨体下端の下方1寸
ちゆうふ 中府	肺経	肺募穴	前胸部，第1肋間と同じ高さ，鎖骨下窩の外側，前正中線の外方6寸
てんぶ 天府	肺経		上腕前外側，上腕二頭筋外側縁，腋窩横紋前端の下方3寸
きょうはく 侠白	肺経		上腕前外側，上腕二頭筋外側縁，腋窩横紋前縁の下方4寸
しやくたく 尺沢	肺経	肺経合水穴	肘前部，肘窩横紋上，上腕二頭筋腱外方の陥凹部
こうさい 孔最	肺経	肺経郄穴	前腕前外側，尺沢と太淵を結ぶ線上，手関節掌側横紋の上方7寸
れつけつ 列欠	肺経	肺経絡穴 八脈交会穴	前腕橈側，長母指外転筋腱と短母指伸筋腱の間，手関節掌側横紋の上方1寸5分
けいきよ 経渠	肺経	肺経経金穴	前腕前外側，橈骨下端の橈側で外側に最も突出した部位と橈骨動脈の間，手関節掌側横紋の上方1寸
たいえん 太淵	肺経	肺経原穴 肺経兪土穴 八会穴の脈会	手関節前外側，橈骨茎状突起と舟状骨の間，長母指外転筋腱の尺側陥凹部
ぎょさい 魚際	肺経	肺経榮火穴	手掌，第1中手骨中点の橈側，赤白肉際
しやうしやう 少商	肺経	肺経井木穴	母指，末節骨橈側，爪甲角の近位外方1分（指寸），爪甲橈側縁の垂線と爪甲基底部の水平線との交点
しやうしやう 商陽	大腸経	大腸経井金穴	示指，末節骨橈側，爪甲角の近位外方1分（指寸），爪甲橈側縁の垂線と爪甲基底部の水平線との交点

手太陰之別＝絡脈

手太陰之別。名曰列缺。起于腕上分間。並太陰之經。直入掌中。散入于魚際。・・・取之去腕半寸。別走陽明也。

（『靈樞』経脈第十）

【書き下し文】

手の太陰の別^①は、名付けて列缺という。腕上分間^②に起こり、太陰の経に並び^③て、直に掌中に入り^④、散じて魚際に入る^⑤。・・・これを腕を去ること半寸^⑥に取る。別れて陽明に走るなり。